

一般会計

◆子ども・妊産婦医療費給付事業 支出済額：1億8,978万円

妊産婦と乳幼児から高校生までの子どもに医療費を給付し、令和4年8月診療分から就学前の子どもの医療費を完全無償化しました。



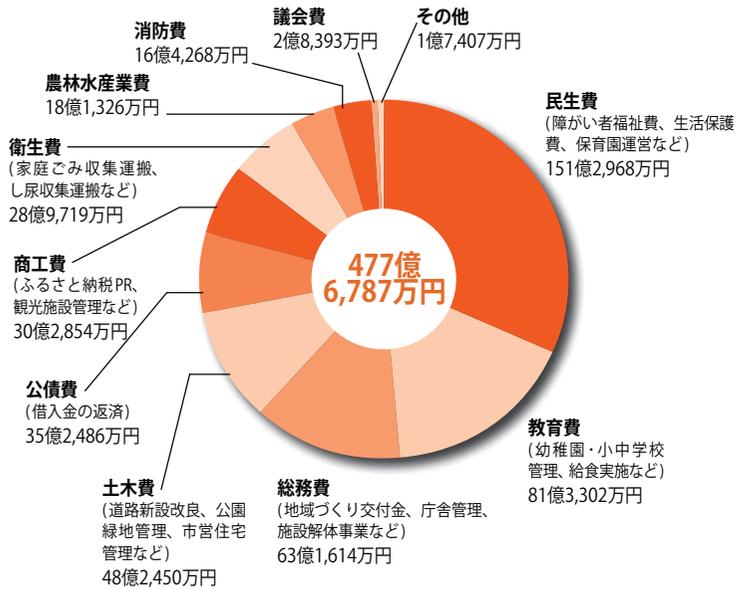
◆東部地区統合小学校建設事業 支出済額：23億9,721万円 (令和3年度からの繰越分を含む)

令和3年9月に着工した東部地区統合小学校(東桜小学校)の校舎が完成しました。

令和4年度の主要事業

◆高齢者公共交通利用促進事業 支出済額：4,124万円

公共交通機関の利用促進と高齢者の外出支援を目的としたバス・タクシー用の助成券を交付しました。



歳出

(市が使ったお金)

477億6,787万3千円
前年度から
1億2,250万6千円減(-0.3%)

施設管理事業や施設解体事業などの総務費が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症対策関連事業費(民生費、衛生費など)が減少したことにより、全体で前年度比0.3%の減額となりました。

令和4年度

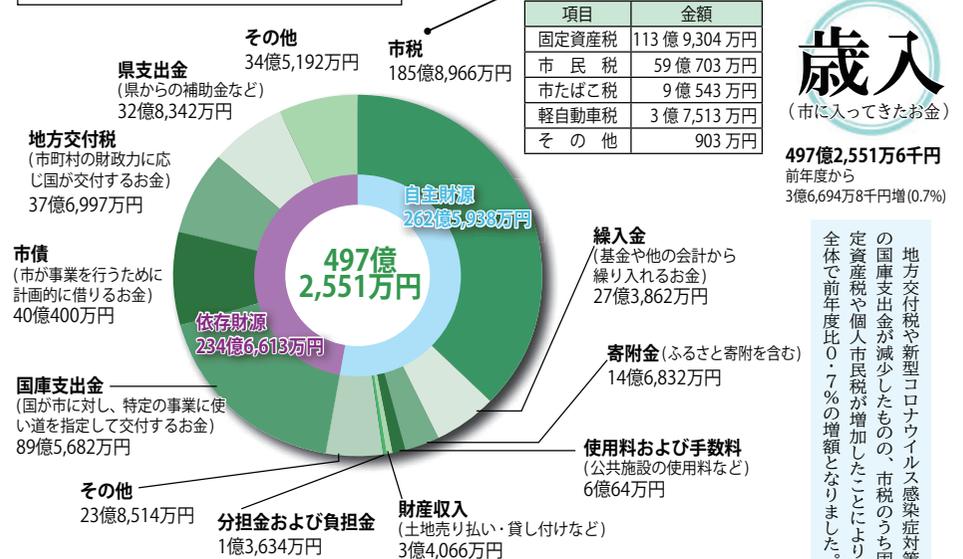
決算報告

令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)の市の決算が、市議会の8月通常会議で認定されました。ここでは、北上市にどれくらい収入があり、どのような目的で使われたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎0197-72-8249



自主財源…市が自らの機能で調達するお金
依存財源…国や県が権限・基準により交付するお金



歳入

(市に入ってきたお金)

497億2,551万6千円
前年度から
3億6,694万8千円増(0.7%)

地方交付税や新型コロナウイルス感染症対策の国庫支出金が減少したものの、市税のうち固定資産税や個人市民税が増加したことにより、全体で前年度比0.7%の増額となりました。

■新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連事業費

主な事業	金額
新型コロナウイルスワクチン接種事業	4億3,582万円
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金	3億6,682万円
子育て世帯臨時特別支援金給付事業	3億4,062万円
キャッシュレス決済推進事業	1億618万円
きたかみ安心飲食店支援金	9,305万円
低所得子育て世帯生活支援特別給付金	8,647万円



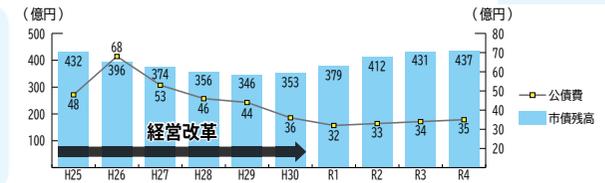
◆令和4年度の新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連事業

総額：25億8,805万円

ワクチン接種事業の実施など感染症拡大防止策を徹底しながら、市民生活や地域の経済活動活性化のための事業を行いました。

公債費・市債残高の動き

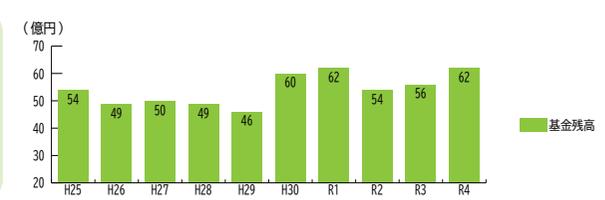
平成23年度～30年度の経営改革により市債残高(借金)の縮減に取り組んできましたが、近年は東部地区統合小学校建設事業(東桜小学校)など普通建設事業費の増加に伴い、市債残高は増加しています。



基金残高の動き

(財政調整基金と市債管理基金の合計)

歳出を抑制し基金(貯金)の取り崩しを最小限に抑えた結果、基金残高が回復してきました。



特別会計

■特別会計決算額の一覧

名称	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	71億7,108万円	71億6,330万円	778万円
後期高齢者医療	17億171万円	16億9,879万円	292万円
介護保険	84億7,708万円	84億1,997万円	5,711万円
工業団地事業	27億6,709万円	25億6,860万円	1億9,849万円
駐車場事業	9,126万円	6,317万円	2,809万円
宅地造成事業	3,110万円	3,057万円	53万円
電気事業	1億4,930万円	1億4,930万円	0万円
合計	203億8,862万円	200億9,370万円	2億9,492万円

七つの特別会計の合計は、歳入が203億8861万3千円、歳出が200億9369万5千円となりました。令和4年度は全ての特別会計で黒字決算となりました。

下水道事業会計



北上工業団地終末処理場整備事業(令和5年9月現在)

◆下水道事業会計とは
下水道事業は、サービスの提供を受けた人がその費用を負担するという考え方を基本とし、使用料により運営されています。このため、独立した会計を設けて、経営・財務状況を毎年度明らかにしています。

◆二つの収支決算
下水道事業では、民間企業と同様に「複式簿記会計」により経理を行っているため、収入と支出が次の二つに区分されます。

- ①下水道施設を維持管理するための収入と支出(当年度の損益となる)
- ②下水道施設を建設するための収入と支出(資産や負債となる)

決算も二つに分かれるため、経営成績と財政状況がより明確になります。

■問い合わせ先：下水道課 ☎0197-72-8291

令和4年度決算の内容

②下水道施設を建設するための収入と支出
収入29.1億円 - 支出39.6億円 = △10.5億円

【収入】	
項目	金額
企業債(借入金)	12.9億円
一般会計からの出資金	10.5億円
国からの補助金	5.3億円
受益者負担金	0.4億円
合計	29.1億円

②の収支は通常、収入額が支出額に対して不足します。この不足分は、減価償却費など現金の支払いを伴わない費用によって蓄えられた資金で補填しています。

【支出】	
項目	金額
企業債(借入金)などの償還	21.7億円
処理場の建設・更新費用	11.9億円
下水道管の建設・更新費用	6.0億円
合計	39.6億円



①下水道施設を維持管理するための収入と支出
収入28.1億円 - 支出27.5億円 = 0.6億円(純利益)

【収入】	
項目	金額
下水道使用料	16.4億円
一般会計からの補助金	7.0億円
その他	4.7億円
合計	28.1億円

一般会計や特別会計と異なり、減価償却費など現金の支払いが伴わない費用も計上しています。

【支出】	
項目	金額
減価償却費	14.6億円
汚水処理費用	9.9億円
借入金利息	3.0億円
合計	27.5億円



一般会計 きたかみさん家の家計簿

当市の令和4年度の一般会計決算額を、身近に感じていただけるよう年収500万円の家計に置き換えてみました。きたかみさんは給料などのほか、親からの仕送りや借金をしながら生活しています。

※実際の家計との比較になじまない部分もあります。

収入(歳入)		支出(歳出)	
家族で稼いだお金		家族の生活費	
給料(市税)	188万円	食費(職員給与などの人件費)	59万円
パート収入(寄附金、施設使用料など)	31万円	光熱費などの雑費(備品購入、委託料などの物件費)	92万円
資産運用収入(土地の売り払い・貸し付けなど)	3万円	町内会費(補助金など)	62万円
合計	222万円	車や家財などの修理代(施設などの維持補修費)	9万円
		医療費・介護費(生活保護などの扶助費)	97万円
		合計	319万円
稼ぎ以外のお金		生活費以外の支出	
親からの仕送り(地方交付税、国・県からの補助金など)	196万円	借金の返済(公債費)	37万円
借金(市債)	40万円	家の増改築費(公共事業など)	73万円
預金の取り崩し(基金、前年度繰越金など)	42万円	子どもたちへの仕送り(他会計への繰出金)	34万円
合計	278万円	預金(投資、出資金、翌年度繰越金)	37万円
		合計	181万円
収入合計500万円		支出合計500万円	
※上記のほかに、預金残高が94万円あり。		※上記のほかに、借金残高が458万円あり。	



北上市の財政状況

◆健全化判断比率
市町村などの財政の健全度を示す健全化判断比率の数値は、いずれも基準値を下回り健全な状態です。

実質公債費比率は、平成15年度からの一連の行財政改革で投資的経費(建設事業など)を抑制してきたことにより、平成26年度以降は改善傾向が続いています。

将来負担比率は、平成19年度には20.0%を超えていましたが、市債の償還が進み、改善傾向が続いています。学校建設など必要な整備により、令和3年度から増加に転じています。

なお、各特別会計や公営企業は黒字決算であるため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算定されていません。

◇用語の解説
実質公債費比率
：借金の年間返済額の大きさを市の財政規模(収入)に対する割合で表したものです。数字が少ないほど、借金が少なく資金繰りがうまくいっているということです。

将来負担比率
：将来返済する分も含めて借金全体の大きさを市の財政規模(収入)に対する割合で表したものです。数値が小さいほど、将来の負担が少ないということです。

■健全化判断比率の動き

